



24 人の子ども議員が登場 「子ども市議会」が 開催されました

2月7日、山陽小野田市ふるさとづくり推進協議会が主催する「子ども市議会」が市役所議場で行われ、市内の各小学校の6年生の代表24人が、それぞれ市政への疑問や提案を発表しました。市の執行部が一人ひとりの質問に答えるかたちで進められた議会のような「議会議中継システム」を使って各公民館などでも放映され、壇上からは、図書館やスポーツ施設の充実、環境問題、国際交流にいたるまで様々な質問が投げかけられていました。市政に子どもの声を届けようと小さな議員が奮闘した子ども市議会。参加した児童にとっては貴重な経験として思い出に残る1日となったようです。

こんな質問がとびだしました



おたにしおり
●大谷志織さん(小野田小)

【質問】 子どもでも利用しやすい図書館や児童館ですが、休館日などで使えないこともあります。職員の出勤をやりくりして、毎日施設を開けてはどうでしょうか。



うえのさすけ
●上野佐介くん(出合小)

【質問】 市内の公園のグラウンドを芝生にかえてはどうでしょう。芝生の上は気持ちがいいし、運動するときもケガをしにくく、思いきってスポーツも楽しめます。

子ども市議会に参加してみて



うぶかたひろあき
●生方宏顕くん(高泊小)

社会の授業で習った政治のしくみがよくわかりました。こういう機会はあまりないので、とても勉強になりました。今後もこの「子ども市議会」を続けて欲しいと思います。



あさのこども
●麻野理美さん(埴生小)

今まで教科書で読むだけだった議会のことがよくわかりました。議場は思っていたよりも広くて、演壇に立つと緊張しましたが、自分の意見を最後まで言えて満足しています。